

現研
パワーアップ
研究セミナー
37

若い力を發揮させる「指導力」の強化

—新世代マネジメントを生かす組織戦略—

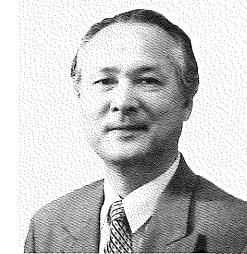
■講師 (株)現代経営技術研究所

上級主任研究員 大島 和義

■日時 2004年3月4日(木) 13:30~16:00

■場所 ダイヤモンドホテル プラザビル203号室

*裏面地図をご参照ください。



セッションI 若手リーダーの指導力の根底をつくる

- 個人の行動態勢をつくる経営のこれから
- 社会・市場・産業の未来—足場がどう切り替わるか
- 人材形成の視点、組織強化の視点、戦略推進の視点
- 現場は、たとえば「成果主義とは何か」にどう答えていくか
- 問題の本質解明、状況への対応、戦略の選択
- 自分の思考、組織の政策、会社の方針の整理
- 一貫性ある判断の形成にどう取り組んでいくか
- マネジメント構想—これからの10年の展望

セッションII 目標管理と業績の評価—重点課題1

- 自社の目標管理はどのような実を挙げているか
- 新リーダーに対し実施する目標管理教育のポイント
- 目標—なかなかできない「目標の設定」の実態
- どうやって自分の目標を開発するか
- 部下の目標の設定をどう指導するか
- 「評価基準」—過去概念からの切りかえは本当に計られたか
- 自社の目標管理コンセプトの確立と再教育方式の検討
- バージョンアップ戦略と新施策の展開
- 現場リーダーの指導力のどこをどう強化するか
- ケース演習と研究…指導モデル

中間討議 *参加者の質問にお答えし、個別の課題について意見を提示します。

<コーヒーブレイク 20分> *参加者名刺交換…お名刺をご用意下さい。

セッションIII キャリア形成力…あなたならどう指導する? —重点課題2

- キャリア形成—プロフェッショナル論、雇用論等
- キャリア形成システムの基礎的展開モデル
- 価値観のぶつかり合いをどう方針化するか
- 企業体質の転換、グローバル環境への視点
- 全社教育機関化への取り組みの思想
- 若手リーダーのキャリア指導力強化計画
- ケース演習と研究…キャリア形成カウンセリング
- 講師指導と解説…何を明確化しなければならないか

まとめ 新しい成長行動をつくる若手の指導力

- マネジメント・コミュニケーション力の強化
- この10年の人材育成基本構想の立案と推進

講師の言葉

■若手に切りかえた現場の力を本気になって引き上げよう、發揮させよう!

今日、組織幹部は事業のこと、経営のこと全般に全力集中の状態ですし、今後、この傾向はますます強まっていかざるを得ないでしょう。一方、現場は現場のことは現場の手でと、必死になって取り組んでいます。この両者の活動をよい循環でまわしていく重要なカギになる力、それが、この間に若手に切りかえた現場リーダーの存在だと思います。リーダーとしての彼らの若い力を發揮させ、現場を動かす新しい原動力として生かす。また、彼らの力を大いに引き上げ、その力を高い水準で發揮させる組織戦略が必要です。そして、その焦点が「指導力」の強化の問題です。

■では、なぜ「指導力」か?

ひとつは、それが若手の共通的な弱点であり、要強化事項だからです。同時に、また、それ以上に大きな問題は、今日の無責任さを伴った内外の大量の情報が、現場の思考を混乱させ、個人の思考を揺さぶり、若手リーダーの指導力の根底をなすべき「思考の軸」が大きく揺れ動かされる状況に対処し、現場を的確に方向づける必要があるからです。今回のセミナーでは、上記に関わる本質的な問題を解き明かすことともに、ケーススタディなどをを使った具体的な教育方法も交え、企業内での展開の手がかりとして進めてまいります。

◆講師紹介◆

大島 和義(おおしまかずよし) 上場企業、中堅企業の長期戦略、経営政策の立案、新事業開発、組織・人事制度の開発、並びに市場調査、商品開発、業務改善等のプロジェクトの指導、経営幹部及び社員の教育研修の実践歴多数。主業務の他に、東京電機大学講師(経営学講座)を務めた。旧労働省の人材開発プロジェクトに委員として参加。



※参加者から提起された問題については、時間が限られているため、後日フォローアップ会合を持つ場合があります。

現研30周年